

開削部底盤の止水注入に採用されたマルチストレーナ工法

－ マルチストレーナ工法 －



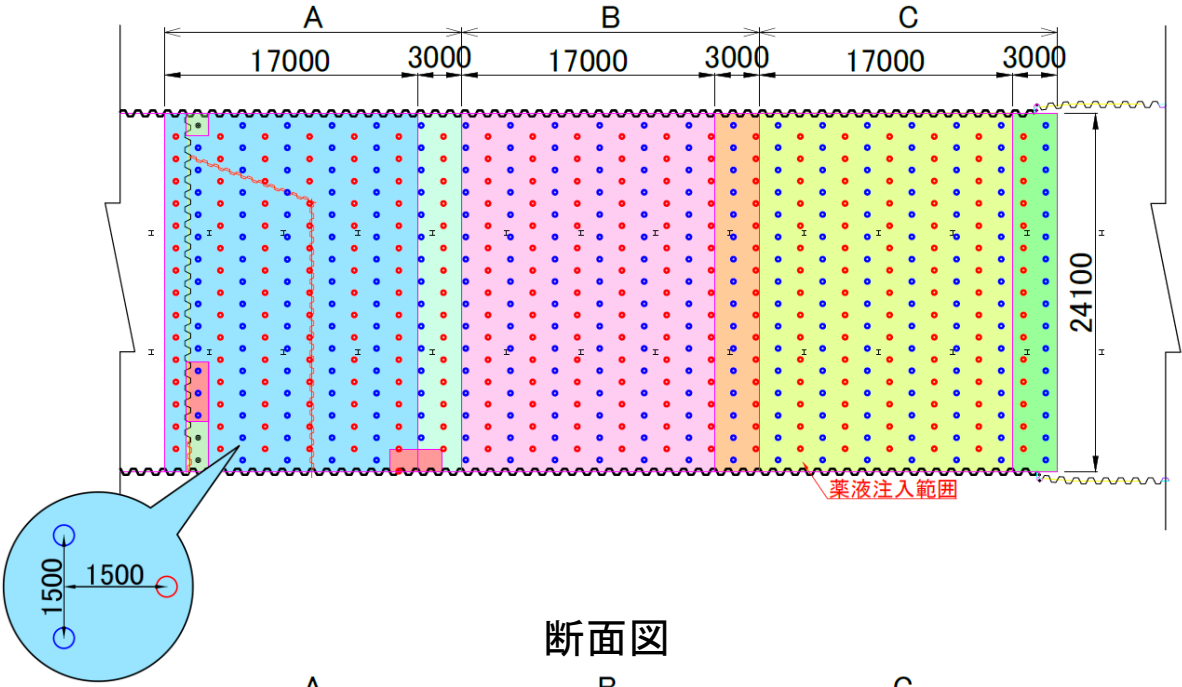
道路整備事業においてトンネル部から地上へのスロップ部分の開削工事に伴う底盤部の止水を目的としてマルチストレーナ工法による底盤改良工事が採用されました。

マルチストレーナ工法は、シールグラウト方式によるダブルパッカ工法に分類され、柱状浸透源により高速・広範囲の浸透注入を可能にした注入工です。

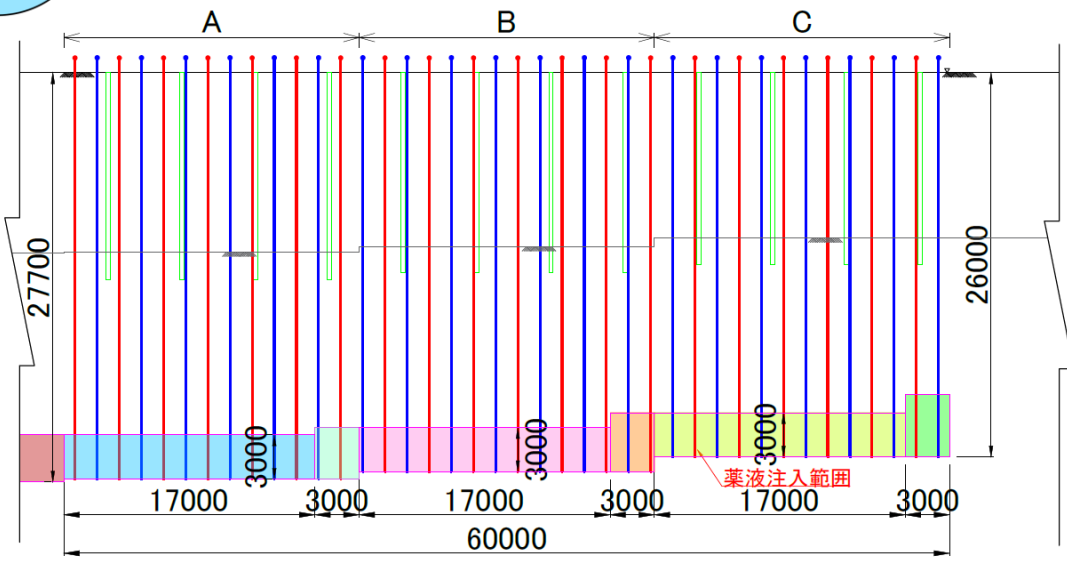
施 工 数 量	
本 数	673 本
総 削 孔 長	18,169 m
平均注入長	3.4 m
改 良 土 量	5,352 m ³
総 注 入 量	1,876 m ³



平面図



断面図



マルチストレーナ工法

注入イメージ図

